12 月 5-11 日

列王第二 13-15 章

127 番の歌と祈り

開会の言葉（1 分）

神の言葉の宝

「真剣に努力するなら豊かに祝福される」（10 分）

宝石を探し出す（10 分）

王二 13:20，21 その後，エリシャは死に，葬られた。それから毎年，年の初め(春のことと思われる)に，モアブ人の略奪隊が国に入ってくるようになった。 21 ある日，人々が人を葬ろうとしていると略奪隊が見えた。それで彼らはすぐにその人をエリシャの墓に投げ入れて，走り去った。その人の体がエリシャの骨に触れると，その人は生き返り，自分の足で立ち上がった。

この奇跡は，宗教遺物に対する崇敬が正しいことを示しているか。

（塔 05 8/1 11 ページ 3 節）この奇跡は，宗教遺物に対する崇敬が正しいことを示していますか。そうではありません。聖書は，エリシャの骨があがめられたことがあるとは述べていません。エリシャが生前に行なった奇跡すべてと同様，この奇跡も神の力によるものでした。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

(14:25)には、ヨナ書を記したアミタイの子ヨナを通してエホバが語られたとおりその国の境界を拡張したことが記されていて、これは，ヨナの預言の業が**紀元前 844 年ごろに**行なわれていたことを示しています。それはイスラエルのヤラベアム 2 世が王位についた年で、(:24)邪悪な王の影響下での奉仕は決して簡単な務めでは無かったはずですが、ヨナの忠実な奉仕は、ヨナがエホバから用いられた理由や決して臆病者ではなかったことも教えてくれる。私たちはこうした補完情報からも自分自身励みを得て、さらに聖書が単なる人間が書いたものではないことや、聖書全体を学ぶ必要があることも示していきたい。

聖書朗読（4 分）王二 13:20–14:7（教励 第 10 課）

野外奉仕に励む

最初の話し合い（2 分）話し合いのサンプルの話題に沿って話す。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を提供する。（教励 第 1 課）

再訪問（5 分）「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子のレッスン 01 から聖書レッスンを始める。（教励 第 20 課）

話（5分）宣 03/8 1 主題: 人を爽やかにする活動（教励 第11課）

クリスチャンとして生活する

30番の歌

「あなたの熱心な働きをエホバは忘れない」（10分）討議。「エホバは覚えていてくださる」の動画を再生する。

会衆の必要（5分）

会衆の聖書研究（30分）暮 レッスン30

閉会の言葉（3分）

151番の歌と祈り

^ （王二 13:1-15:38） ユダの王アハジヤの子エホアシュの治世の第23年，イスラエルではエヒウの子エホアハズがサマリアで王になった。彼は17年治めた。 2 エホアハズはエホバから見て悪いことを行い続け，ネバトの子ヤラベアムがイスラエルに犯させたのと同じ罪を犯すのをやめず，その罪から離れなかった。 3 それで，エホバはイスラエルに対して激しく怒り，イスラエルがシリアのハザエル王とハザエルの子ベン･ハダドにずっと抑圧されるようにした。 4 やがてエホアハズはエホバに恵みを求めた。エホバは，シリアの王がイスラエルに加えてきた圧迫を見ていたので，その願いを聞き入れた。 5 エホバは，シリアの圧制から解放する救い主をイスラエルに与え，イスラエル人は以前のように平和に生活できるようになった。 6 （しかし彼らは，イスラエルに罪を犯させたヤラベアム家の罪から離れず，その罪を犯し続けた。聖木*がサマリアにずっと立っていた。） 7 エホアハズの下には騎手50人，兵車10両，歩兵1万人しか残っていなかった。そのほかはシリアの王に滅ぼされ，脱穀の時のもみ殻のようにされたからである。 8 エホアハズについてのほかの記録，行ったさまざまなことや功績は，イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。 9 エホアハズはやがて死に，サマリアに葬られた。代わりにエホアハズの子エホアシュが王になった。 10 エホアハズの子エホアシュがサマリアでイスラエルの王になったのは，ユダのエホアシュ王の治世の第37年のことだった。エホアシュは16年治めた。 11 彼はエホバから見て悪いことを行い続けた。ネバトの子ヤラベアムがイスラエルに犯させた罪から全く離れず，その罪を犯し続けた。 12 エホアシュについてのほかの記録，行ったさまざまなことや功績，ユダのアマジヤ王との戦いのことは，イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。 13 エホアシュはやがて死に，ヤラベアム*が王座についた。エホアシュはイスラエルの王たちと共にサマリアに葬られた。 14 さて，エリシャは病気を患い，死が近づいていた。イスラエルの王エホアシュがエリシャの所に来て，泣いてすがり付き，「父よ，父よ！ イスラエルの兵車と騎手たち！」と言った。 15 するとエリシャは王に，「弓と矢を持ってきなさい」と言った。それで王は弓と矢を持ってきた。 16 エリシャはイスラエルの王に，「弓を手にしなさい」と言った。それで王が弓を手にす

神の言葉の宝

真剣に努力するなら豊かに祝福される

エリシャはエホアシュ王に，あることをするよう指示した。それはイスラエルがシリアを討つことを比喩的に示すものだった。（王二 13:15-18）

エホアシュは熱意が欠けていたので，部分的な勝利しか収められなかった。（王二 13:19。塔 10 4/15 26 ページ 11 節）

エホバは，ご自分に熱心に仕えようと努める人たちを豊かに祝福する。（ヘブ 11:6 信仰がなければ，神に喜ばれることはありません。神に近づく人は，神が存在し，熱心に仕えようと努める人たちに報いてくださる，ということを信じなければなりません。塔 13 11/1 11 ページ 5-6 節エホバはどんな人に報いてくださるのでしょうか。「ご自分を切に求める者に」とパウロは述べています。聖書翻訳者用のある参考書によれば，「切に求める」と訳されているギリシャ語は，「見つけるために出かける」ことではなく，神のもとへ「崇拝のために」行くことを意味しています。別の参考書には，ギリシャ語のこの動詞は強さや集中的な努力を示す語形になっている，と説明されています。そうです，エホバは，人が信仰に動かされてご自分を心から愛するがゆえに熱心に崇拝するとき，その人に報いをお与えになるのです。—マタイ 22:37。
報いを与えてくださるエホバの能力や意志を疑うなら，エホバを喜ばせることはできない
エホバは，忠実な崇拝者たちにどんな報いをお与えになるでしょうか。ご自分の寛大さと愛の深さを明らかにする，将来の極めて価値の高い報い — すなわち，楽園となる地上での永遠の命 — を約束しておられます。（啓示 21:3，4）エホバを切に求める人たちは，今でさえ豊かな祝福を受けています。神の聖霊と聖書の知恵に導かれて，報いの多い，満足のゆく生き方をしているのです。—詩編 144:15。マタイ 5:3。）

考えてみよう: 「私は，聖書通読，集会の出席，宣教といったエホバへの崇拝において真剣に努力しているだろうか」。

クリスチャンとして生活する

あなたの熱心な働きをエホバは忘れない

誰かのために何かを一生懸命に行っても，感謝されていないと感じたり，すぐに忘れられてしまったと思ったりすることがあるかもしれません。エホバのために働く場合はどうですか。エホバは私たちが真剣に努力したことを高く評価し，ずっと覚えていてくださいます。健康問題のために以前より多くを行えないとしても，エホバが私たちを見捨てることはありません。（ヘブ 6:10 皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え，今も仕え続けています。そのようにして，神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので，そうした働きや愛を忘れたりはされません）

「エホバは覚えていてくださる」の動画を見て，次の質問に答えましょう。

１．　ヒブシュマン兄弟は，これまでどんな奉仕を一生懸命に行ってきましたか。

開拓奉仕を始めて、ヘレン姉妹と結婚し、ケンタッキー州西部で旅行する奉仕をし、リビンズ BS と知り合い、ギレアデにも一緒に行けた。グアテマラに割り当てられ、リビンズ BS と同じ宣教者ホームで生活することになった。その後リビンズ BS がプエルトバリオスに移動することになり、二人と別れるのはとても寂しかった。そして私たちはグアテマラ市の支部事務所に割り当てられた。忙しい毎日で、沢山の祝福があった。私たちはとても中の良い夫婦だったので、姉妹が病気になった時にはとても辛かった。（妻の手紙の祈りの言葉）「エホバ、私の大切な夫を支えてください。本当に幸せな毎日でした。」

2. 兄弟が妻を亡くした後も，加齢による限界を感じるようになっても，エホバは兄弟のことを忘れませんでした。それは，どんなことから分かりますか

ある兄弟は、ヒブシュマン姉妹が亡くなった日に兄弟の部屋に行って、「兄弟は一人きりではないですよ。どこへでも一緒にいきますから、遠慮なく言ってくださいね。」と伝えた。

3. 兄弟は全時間奉仕を通して充実した人生を送ってきました。なぜそう言えますか。

（格 10:22 エホバの祝福が人を富ませる。それに痛み(*悲しみ/苦しみ)は伴わない）

兄弟は思い出ばかりに浸っているのではなく、奉仕に打ち込みました。姉妹が亡くなってからも 18 年間グアテマラ支部委員会で奉仕を続けた。その後サンルカツの大会ホールに引っ越して、そこで奉仕するようになった。毎週末兄弟姉妹との交友を楽しんだ。自分の会衆の大会でなくても兄弟姉妹に会いにいった。沢山さんの知り合いに会える。私たちクリスチャンの間には愛が溢れている。素晴らしいこと。大勢の友人に囲まれている。妻から「大切な貴方へ。ヘブライ 6:10 の聖句を机の上に置いてください。この言葉はずっとエホバに仕えてきた貴方にぴったりだと思います。」